



一学部小・中学部、高等部卒業生の皆さん 二学部中学部卒業生の皆さん

ご卒業おめでとうございます

一雨ごとに、春めいてきました。

3月15日（金）一学部（小、中、高等部和歌山病院入院児童生徒）卒業式および二学部（中学部通学生）卒業式が実施されました。

午前中に行われた二学部中学部3年生の卒業式。5日（火）に高等部の入学選考があり、12日（火）に合格発表があったばかりです。次の高等部というステージに進む心の準備をしながら、卒業証書を受け取ってもらいました。私の式辞の中で、自分たちで考え、自分の役割に責任を持ち、興味を広げていくことを、これからもマイペースで進めてほしいと伝えさせていただきました。高等部から一緒になる新しい仲間たちとともに、素晴らしいチャレンジを見せてくれると信じています。

一学部の小中高等部卒業式は、午後から時間差で、体育館、ベッドサイドと場所を変えて行われました。病院関係者にも参加していただき、心温まる式となりました。本校に在籍した期間は違えども、この3年間はコロナの関係で多くの制限を受けてきた児童生徒たちです。家族との面会すら十分な時間をとってもらえず、寂しい思いをしてきたことと思います。その中で、先生達との関係性を軸に、五感を高めながら、自分の思いを様々な表情や体の動きで伝えてくれました。キラッと見せてくれる輝きを私たちは決して忘れません。

午前の卒業式では門出の歌として、コブクロの「桜」を歌い、午後の卒業式では、森山直太郎の「さくら」を歌いました。これから各地で咲き誇る桜ですが、美しく咲いている期間が短いように、仲間との楽しい時間も一瞬に感じるほど早く過ぎ去ってしまいます。でも一瞬でも魅せてくれたこの美しさは、心に残り続ける思い出として大切にし、新たなステージで頑張ってもらいたいと思います。

